

福祉の取り組み

を考える…

福祉現場視察 あすなら苑

9月19日

福祉事業の最前線である社会福祉法人協同福祉会「あすなら苑」は、奈良県大和郡山市にあり、1994年ならコープにより設立されました。現在は県内にホームとハイツ20か所、保育園1か所の事業を行っています。協同福祉会が提唱する「あすなら10の基本ケア」は生協10の基本ケア、生活クラブ10の基本ケアのお手本であり、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けたい、寝たきりにさせない介護の基本となっています。



あすなら苑の全景。風と太陽の光をとりこめるよう設計され、自然とふれあえるテラスや遊歩道、気軽に休める談話室などを備えている。

「あすなら10の基本ケア」

1. 換気をする
2. 床に足をつけて椅子に座る
3. トイレに座る
4. あたたかい食事をする
5. 家庭浴に入る
6. 座って会話をする
7. 町内にお出かけをする
8. 夢中になれることをする
9. ケア会議をする
10. ターミナルケアをする

入所時にひざ下の長さを測り、椅子を決め要介護4や5の方も椅子に座って食事をすることが、生活リハビリになっています。体重をかけやすい専用の台を設置して、トイレに座ることも個人の尊厳を守ります。(写真1) お風呂もヒノキの湯舟に座って浸かるなど、職員にとっては大変なことです。そのケアが日常生活の土台を整え、自分らしく生きていくこととして職員の方々は頑張っています。地域の方を招いて交流を行う活動や、無料の子ども広場なども行っており、介護が必要になったとき、介護度が進んだときでも段階的に暮らしが想像できる「安心して暮らせる地域づくり」につながっています。「福祉の日常化、参加型福祉を広げ、地域社会を豊かにする」がどんどん広がっています。

こんな素晴らしいあすなら苑も国の介護保険制度があるから成り立っています。しかし 2027 年度介護保険制度改定で、介護報酬の引き下げによる人材不足や事業所の閉鎖などが懸念されています。また介護給付の抑制、ケアプランの利用者負担の拡大は、介護利用控えや、ひいては介護度合いの深刻化にもつながります。

そこで生活クラブ共済連は、国に対して介護保険制度改定にむけた提言の提出と、昨年 11 月 12 日には生活クラブの組合員、グループの社会福祉法人約 170 名が集まり国会議員や厚労省に直接訴え、政策提言を行う院内集会を行いました。生活クラブ生協大阪のエッコロ委員会からも 2 人が参加しました。さらに、国に対し



「あすなら仕様」のトイレ (写真1)



ヒノキ桶で、外の庭園が見える、洗い場が畳で安心して座れるなど、安全で楽しめるお風呂場づくり (10の基本ケアより)

て意見提出を求める陳情を 11 の府・市議会宛に提出しました。

このままでは実際に利用する私たちが、安心して利用できる制度からはかけ離れていきます。私たちがいつまでもその地域で自分らしく、尊厳をもって暮らしていけるよう、私たちも意見を出し、声を上げていきましょう。

(エッコロ委員会 寺田由加・谷田雅代)

11/16

エッコロ委員会

参加:25人

エル・おおさか

子育て講座

～子どものそばに素敵な絵本を～



長年、保育所長の経験がありNPO法人「絵本で子育て」センターにて絵本で子育てすることの楽しさを伝えている、金澤栄子さんを講師に招き、子育て講座を開催しました。子どもと一緒に読んで楽しめる絵本を紹介しながら、子育て中や、子どもに関わる組合員へ子育てが楽しいと思えるヒントを伝えました。



金澤栄子さん

参加した組合員は自然と前から座って、話を聞きたいという意欲が感じられました。また、家族連れやお父さんと子ども、孫育て中のご夫婦など様々な子育てに関わる組合員が参加しました。

前半は大人だけで金澤さんのお話を聞きました。最初に金澤さんの優しい絵本の読み聞かせに、参加者は絵本を読んでもらう心地よさを感じ、あたたかい気持ちになりました。後半は託児をしていた子どもも参加して一緒に絵本やふれあい遊びをしました。



会場には金澤さんおすすめの絵本がずらり!



思い思いに絵本を選んで。

ほっこりあたたかい時間が流れる。

読んでもらった子どもが幸せを感じて、自分に自信をもって生きていってほしいと感じました。そんな素晴らしい絵本での子育てについて、今後も子育て中の組合員、子どもに関わる組合員に伝えていけたらと思います。

(エッコロ委員会 寺田由加)



金澤さんの周りに集まってふれあい遊び

参加レポート

私がお話の中で一番心に残ったのは、「絵本は子育てを助けてくれるもの」という言葉です。子どもは絵本の言葉を親の言葉として聞いているから、子どもへの愛情、平和や命の大切さなどを伝えるのに、とても助けになるのだということでした。

また、金澤さんは「読み聞かせ」を「読みあっこ」と呼び、そのとき読む本はいつも参加者の

顔ぶれを見て決めるそう。絵本は相互のコミュニケーションなのだと思いました。

お話の合間に絵本を読んでもらいました。金澤さんのお声はやさしくて時に迫力があり、絵本を読んでもらうことの心地よさを体感しました。

子どもと絵本を読む時間をこれまで以上に大切にしたいと思いました。

(広報委員会 西口成美)



笑顔があふれる「読みあっこ」

…生活クラブの居場所…

生活クラブ生協大阪は、福祉政策として2017年より「居場所づくり」に取り組んでいます。組合員を含めた地域に暮らす大人や子どもが気軽に立ち寄り、交流し、悩みごとなどを気軽に会話できる場所をめざして2020年に「よりみち」、2025年に「ほっとこ」を立ち上げました。組合員の「地域で何かできることがないか」「誰かの役に立ちたい」という思いが形になりました。
(常任理事 寺田由加)

もうすぐ1周年!! もっと地域にひろげたい

〈子どもたちのにぎやかな声と笑顔があふれる〉

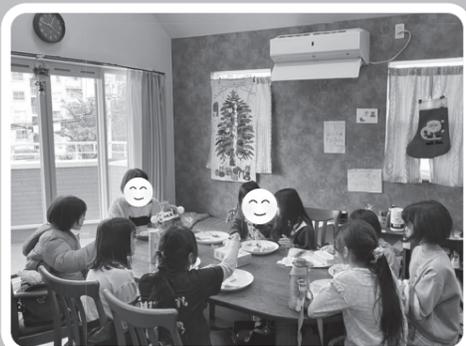
子どもたちは学校が終わり一回家に帰ってから遊びに来ます。最近、毎回来る子がお友達を誘ったり、ほっとこに子どもが入っていくのを見て、来てくれる子もいたり。少しずつ遊びに来る子が増えて、一番多い日は18人来てくれました。とってもにぎやかです。来ると子どもたちは、ボードゲーム、かくれんぼ、卓球などを友達やスタッフと楽しめます。放課後子どもたちが楽しく、安心して過ごせる場所を作ることができました。

〈みんなで食べるとおいしいね!〉

目標の一つでもあった夏休み、冬休みのお昼ごはんの提供ができました。子どもたちが楽しく食事しているのを見て、私たちも幸せな気持ちになります。豊中市は子どもの居場所や子ども食堂、学習支援の取り組みに力を入れており、「子どもの居場所づくり推進事業補助金(いこっと補助金)」を各団体からの応募に基づき交付しています。ほっとこも子どもの居場所ネットワーク「いこっと」に加盟して補助金に応募し、お昼ご飯の食材やチラシ作りなどに活用しました。



常連の仲良しグループ。おしゃべりをしながらいろいろな遊びを見つけます。



みんなで食べるごはんはおいしいわ



こんな卓球も卓球にしています。ふらっと来て楽しんで、またどこかへ遊びに行ったりします。

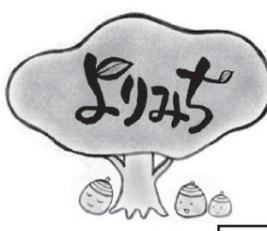


みんなの居場所

ほっとこ



ほっとこ Instagram



よりみち



よりみち Instagram



「ほっとこ」という名前の通り、子どもたちがふらっと立ち寄れるほっとできる場所、子どもとのおなごを満たせる場所をめざします。毎週水曜日 13:30 ~ 17:00 開所



女性スタッフだと泣いちゃうのに男性ボランティアにすっかり慣れましたちびっこたち

地域と育つみんなのよりみちの木

「桃栗三年柿八年」と言いますが、地域に根を張った「よりみちの木」も5年を経て、多世代が集う温かな居場所へと成長しました。

開所当初は何をしたらいいかわからない存在でしたが、今では立ち寄った人々が友人を連れてくるようになり、共に楽しみ、時には困りごとを相談したり、誰かに会いたい時にふらっと立ち寄りたりする。そんな笑顔とつながりの輪が広がる「みんなの居場所」となっています。

地域での活動も活発になってきました。高齢化が進む団地自治会に代わって小学校の夏まつり出店を引き継ぎました。テント貸出や飲料冷却用の氷の準備など、自治会からの支援を受けながら、毎年店を出しています。小学校の生活科授業「町たんけん」では、2年生が「地域のひとと話そう」と訪ねてきます。その際に会った子どもたちが立ち寄り、今では親子で常連になるなど、多世代交流の場ともなっています。さらに、近隣の居場所や地域包括支援センターなどと情報を共有し、連携して見守りもするようになりました。



サイフォンで淹れる珈琲企画の日。よい香りに誘われて一人でも、友人と一緒にでも、カフェインが苦手な人までが集っておしゃべりを楽しめるよりみち



ドレスを着る人も着せる人も見る人もみんな幸せ♡

また、季節の行事である七夕には、利用者だけでなく、下校中の小学生やバスを待つ人、さらには遠い故郷の知人にまで声をかけて100枚もの短冊を届けてくれる人まで現れ、300枚以上のさまざまな願いが笹を彩りました。年2回のバザーもビッグイベントです。「断捨離したから」と物品を提供してくれる方々に支えられ、当日は開始前から行列ができるほど。待機時間も交流の場となり、手に入れた品物を見せ合いながらあちらこちらで楽しそうなおしゃべりがみられます。

地域の人が広げている地域の居場所。個人の「特技や文化を伝えたい」という思いからオカリナ演奏やドレスアップ企画、台湾文化の紹介など、多種多様な地域住民発案の企画も生まれ、住民同士の活発なコミュニケーションの場となっています。利用者の年代も幅広く、90代から乳幼児までのふれあいもあり、まるで「大きな家族」のような温かい関係が生まれています。

スタッフやボランティアにとっても、毎日の発見と喜びがあり、人と人とのつながりが生まれる瞬間に立ち会えるこの場所は大切な居場所です。

これからも、細い幹でもみんなで支え合い、困った時には頼り、集えば出会いがある「よりみちの木」として、地域にしっかりと根を張り続けていきます。
(居場所よりみち 正田洋子)



お願いごとたくさん書いていい?

〈居場所の運営〉

「いこっと」のコーディネーターに相談しながら居場所の運営をしています。冬休みのお昼ご飯の後には、「いこっと」のサポーターの方に来ていただき、子どもたちと一緒に折り紙のクリスマスリース作りを教えるのも、楽しむことが出来ました。

安定した運営をするためにも、今後は大人や親子連れの利用がある事を目指したいと思います。地域のみなさんにほっとこをもっと知ってもらおうと、生活クラブ共済連の福祉たすけあい活動支援制度で購入した横断幕を掲げ、三つ折りチラシの配布・配架をしました。

〈開所日を増やしたい! 求む、ボランティア!〉

今後開所日を増やすには、スタッフ、ボランティアが足りません。お近くの方、一緒に子どもたちと過ごしませんか? 子どもたちから元気をもらっています。学校の長期休みにお昼ごはんを提供して「子どもの心とお腹を満たす」、午前にも開所して「親子連れや高齢者に来所してもらう」を目標に、スタッフ、ボランティアで楽しく活動していきます。

(居場所ほっとこ 小澤久美)

野菜で飾った素敵なゲートや
生産者お手製の遊具がお出迎え



伊賀有機農産供給センター

収穫感謝祭に参加しました

12/6
参加：64人

収穫感謝祭は、野菜の生産者である伊賀有機農産供給センターの主催で毎年12月頃に開催されるお祭りです。生産者と関西4生協の組合員*や地元の人たちが、生産者の畑で共に収穫に感謝し交流を深めています。

*よやく・野菜セットの登録者が対象

玉ねぎの定植と野菜の収穫体験もありましたが、このお祭りはみんなで一緒に何かをするのではなく、やりたい人が好きなよ



地元の材料で作りました。

杵と臼で餅つき。「できたかな?」

地元の人が集めたたくさんの木の葉や葉っぱ、木の蔓が積んであります。みんな思い思いに楽しんでます。

伊賀の野菜を使ってカレーや豚汁、炊き込みご飯を準備



青空のもとで楽しんだ音楽とダンス

うにいろいろな体験ができるのが素晴らしいところ。野菜が柔らかく煮えたところでお肉と味噌を入れて豚汁の完成です。ごはんの後は太鼓隊の演奏に合わせてダンス！最後は綱取りゲームをして野菜を分けてもらって解散。楽しかったね、おいしかったねと話しながら片づけをして終わりました。

(常任理事 池辺尚代)



生活クラブ関西・ミート生産者交流会

活動の報告

12/2 千里ブロック
参加：21人 亥の子谷コミュニティセンター

吉見さん(写真中央)を囲んで



私たちの食肉がどのように育てられ、どう組合員に届くのか? なぜ安心でおいしいのかを知りたいと、「生活クラブ関西・ミート生産者交流会」を開催しました。当日は組合員同士で和やかな雰囲気の中、生活クラブ関西・ミート専務の吉見さんのお話を聞きました。

生活クラブのお肉と市販品との違い、一頭買いによるごまかしのない仕組み、育てるところから加工・パック詰めまでを一貫して行っていることなど、丁寧な説明に、参加者はうなずきながら熱心に聞き入っていました。豚の飼料にココナツミルクを取り入れて脂が甘くなることや、牛・豚・鶏の飼育環境についての話、生産者の想いを聞き「そんなところまで大切にされているんですね」と、思わず声がこぼれる場面もありました。

一般ではそのまま加工することの多いリンパ節を生活クラブ関西・ミートでは加工時に切除していることについての説明では、正しい情報を知ることによって理解が深まり、「きちんと聞いてよかった」「知ることで安心できた」という感想につながっていました。吉見さんの親しみやすい語り口もあり、質問や感想が自然と飛び交う、千里ブロックらしいあたたかな交流の時間となりました。

調理では和牛ステーキや豚100%ハンバーグ、豚肉を野菜セットと伊賀越だし醤油で味わいました。吉見さん直伝のステーキの焼き方についての実演では、皆が周りに集まり興味津々で聞いていました。試食では「お肉がとにかくとてもおいしい」「野菜と一緒に食べるとほっとする」と、テーブルごとに会話が弾みました。普段は豚肉を中心に利用しているという参加者からも「こんなにおいしいなら牛肉も取り入れてみたい」といった声が聞かれました。

生産者の想いを直接聞き、同じ地域の組合員同士で感じたことを分かち合えた今回の交流会。生活クラブのお肉について、おいしさの秘密や背景を知ることが日々の選択につながり、これからも継続して沢山お肉を利用しようと最後は拍手で交流会を終えました。“学び合い、伝え合う”素敵な時間となりました。

(千里ブロック理事 門野弘美)

参加レポート

- ・関西・ミートの話を初めて聞く組合員から感想を聞きました。
- ・豚は人間と共通の病原菌を持つので、安全のためにとても丁寧にリンパ節を取り除いている。
- ・一頭買いを無駄にすることなく、在庫を作らないための、入荷から配達まで管理ができる仕組みは、関西・ミートならでは。
- ・市販のしゃぶしゃぶ肉ほど薄くスライスできないのは、一度も冷凍しないお肉だから。



吉見さんの話を熱心に聞く参加者



調理中も吉見さんとの会話が弾みます



吉見さんが特にオススメの和牛ステーキ



豚肉と野菜セットの野菜を伊賀越だし醤油でさっとひと煮するだけ!



お肉も野菜もおいしい〜

・パックの裏側部分だけを切り開いて使い、余ったらパックに戻して切り口を折り曲げ、輪ゴムで止めておくとおいしく食べられる。
・冷凍するならば、開けずにフレッシュパックのまま。
・など、とても印象に残ったそうです。
私もお肉の感想で再確認したことをもっと広めて、食べる力を増やしたいと思いました。(広報委員会 泉あけみ)

お年玉プレゼントクイズ 当選者発表

クイズの正解
Q.1 1
Q.2 2
Q.3 3

応募総数
741



ご応募ありがとうございました!

1等 《福袋》民衆交易セット

稲村順子(守口北門真)

2等 《福袋》美食百彩セット

清水正子(牧野) 藤井秀(平野)

3等 R(リユース)びん入り消費材セット

土山賀子(東大阪) 吉田恭子(豊中北部)

豊田るみ(穂谷) 中村和子(天王寺)

小野木ゆみ(箕面西)

4等 おすすめジュース4本

深田智美(東大阪) 荒木正則(成田三井が丘)

木村和子(中池田) 井下和恵(吹田南部)

上垣真起子(中池田) 荻野雅子(茨木北部)

三上由利恵(ポートタウン) 間部則子(羽曳野)

島内ゆりな(成田三井が丘) 極山有紀(楠葉北)

5等 キッチン用液体せっけん(詰替用)

東美貴(箕面東) 花田和代(茨木東部)

田原和子(香里ヶ丘) 衛藤弥生(寝屋川東)

安藤晴子(八尾) 山下明子(箕面東)

山本友香(東大阪) 岡田史子(大東)

藤原千紘(豊中北部) 渡邊桂子(豊中北部)

西村恵理(大東) 小杉まほり(箕面西)

竹内幸代(平野) 松岡彩樹子(旭)

岩崎加代子(千里山東部) 鎌田尚美(茨木中央)

永野 幸(東住吉) 鹿島美和子(東香里)

雲井智子(長尾) 垂水美恵子(住之江西成)



健康診断を受診してますか？

エコロ共済には、加入者が日頃より健康に気をつけて、地域で元気に活躍できるように健康診断の自己負担金に対する補助があります。無料の健康診断に有料のオプションを付けた時や、会社の健診で有料のものも対象です。年に1回健康診断を受けて、頑張っている体と向き合しましょう。

エコロ共済の申請は、事由発生から1年以内です＊。年度が変わっても、1年以内なら申請できます。申請忘れがないようご確認下さい。

＊小学校入学祝、節目祝の申請は締切日まで。

＊エコロ共済脱退後は申請できません。

エコロ共済の申請は、消費材を利用している組合員に限りです。エコロ共済に加入しているかどうか不明な場合は、消費材請求書をご確認ください。加入者にはエコロ金 100 円と記載されています。

エコロ事務局への問合せや相談は

☎/FAX 072-641-5811

エコロ共済 WEB サイト ↓



不在の場合は留守番電話に組合員コードと名前を入れるか、Fax でお用件をお送りください。折り返し連絡します。



Rびん回収率 UP キャンペーン

結果報告

10～11月に生活クラブ全体で実施したRびんキャンペーン応募総数は、大阪では448件、637口、この期間の回収本数は19,933本でした。24年度や春のキャンペーンに比べ数字は下がってしまいましたが、引き続き返却を呼びかけていきます。回収率など詳しい数字はエコメール(環境委員会ニュース)でお知らせします。



10月から新たにRびんに仲間入りした料理酒 900ml 丸正びんは364本回収されており、キャンペーンに合わせ組合員に周知できたことは成果でした。

生活クラブのグリーンシステムはCO₂やプラごみの削減につながります。使い終わったRびんはしっかり返却しましょう！

(環境委員会)



3歳児は、言われたパーツをただお兄ちゃんに渡すだけでしたが、完成したツリーハウスで二人楽しそうにごっこ遊びしていました。

3歳になった孫の誕生日プレゼントに、リクエストされたレゴを贈った。8歳以上の表示に「まだ早くない? 結構なお値段...」でもひと目見るなり、ばあばの心の声も吹っ飛ばぐらいの喜びよう。今のレゴって、作る順番でパーツが小袋に分かれていて、①番の袋から開けて、②番の袋の説明書通り組み立てていくと、6歳のお兄ちゃん一人でも完成できてびっくり!

つぎやき

1月度実績報告 (12/21～1/20)	
◎組合員数	20,128人 (1/20 現在)
加入	75人
脱退	88人
◎供給高	366,548千円 (計画比 95.9%)
	(前年比 127.5%)
◎一人当たり利用高	18,203円 (前年比 126.8%)

- 理事会報告
- 1月26日 大淀コミュニティセンター
 - ◎25年度活動報告、26年度活動方針案の提案・討議
 - ◎26年度総代選挙区及び定数・総代選挙管理委員を決定
 - ◎生活クラブ生協フェスタ実行委員会の立ち上げを決定
 - ◎冬の共済キャンペーン中間報告を確認

2025年5月号

ものづくり最前線 — いま、生産者は「那須箒根(ほうきね) 酪農業協同組合」

年末に実家へ帰省、近所から「モォー」とのんびりした声が。栃木県は生乳生産量全国第二位の酪農県。思えば通学路は一面の飼料用とうもろこし畑、同級生には家業が酪農という子も複数。新生酪農を知ったのは大阪で生活クラブに加入してからです。牛乳を飲むたび故郷の皆さんに力をもらっています。安心な飼料で愛情いっぱい育てた牛たちの牛乳は、牧場で飲む搾りたてにも負けないおいしさ。遠く大阪より応援しています!

(東香里地区 阪上綾子)

一人ひとりの購読料(100円)で成り立っています。